

節末問題 3.6 の解答

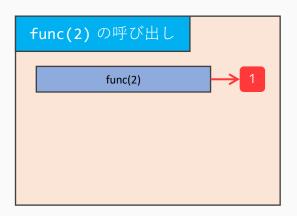


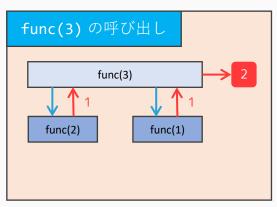
問題 3.6.1

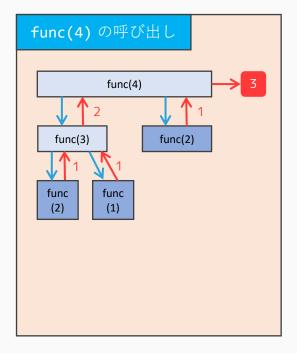
答えは以下の通りになります。特に func(2) では最初の条件分岐(Nc=2)で値が返されることに注意してください。

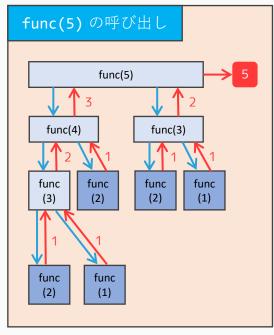
関数の呼び出し	func(2)	func(3)	func(4)	func(5)
答え	1	2	3	5

再帰呼び出しのイメージ図は以下のようになります。なお、関数 func(N) はフィボナッチ数 (\rightarrow **3.7.2項**) の第 N 項を返します。







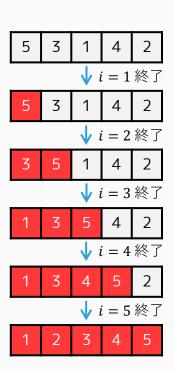


問題 3.6.2

このソートアルゴリズムでは、以下の事実 A が成り立ちます。右図は A = [5,3,1,4,2] の場合の例を示しています。

i=I のループが終わった時点で、 $A[1] \leq A[2] \leq A[3] \leq \dots \leq A[I]$ が成り立つ。

これは次のように証明することができます。 なお、「i=I-1 で条件を満たすと仮定して、i=I で条件 を満たすことを示す」という証明技法を **数学的帰納法** とい います。



証明したいこと(事実 B)

i = I - 1 のループが終わった時点で $A[1] \le A[2] \le \cdots \le A[I - 1]$ を満たす時、 i = I のループをすると $A[1] \le A[2] \le \cdots \le A[I]$ を満たすようになる。

事実 B の証明

i = I - 1 の時点で、 $A[t - 1] \le A[I] \le A[t]$ のとき

- j = t で初めて swap される。
- j = t + 1, ..., I 1 でも swap される。
- それ以降:A[I] の値が増える可能性はあるが、減ることはない

となるため、最終的には $A[1] \leq A[2] \leq \cdots \leq A[I]$ が 成り立ちます。右図はその一例です(I=4 の例)。

1 3 4 2 5 $\sqrt{j} = 1 \text{ & } 7$ 1 3 4 2 5 $\sqrt{j} = 2 \text{ & } 7$ 1 2 4 3 5 $\sqrt{j} = 3 \text{ & } 7$ 1 2 3 4 5 $\sqrt{j} = 4 \text{ & } 7$ 1 2 3 4 5 $\sqrt{j} = 5 \text{ & } 7$ 1 2 3 5 4

事実 B が証明できたら?

明らかに i=1 のとき事実 A が成り立ちます。また、事実 B より、i=2 のとき事実 A が成り立ちます。事実 B を繰り返し適用させると、i=N のときも事実 A が成り立つ(操作終了時にソートされている)と分かります。

問題 3.6.3

まず、列 B' が空の場合、列 A' の最も左の要素 A[c1] を取り出すため、以下のようなプログラムを書くと良いです。ここで、要素を取り出した後、列 A' の最も左の位置 c1 が 1 増えることに注意してください。

次に、列 A'・列 B' 両方が空でない場合、以下のように場合分けすると良いです。

- 列 A' の左端 A[c1] が列 B' の左端 A[c2] より小さい:A[c1] を取り出す
- 列 B' の左端 A[c2] が列 A' の左端 A[c1] より小さい:A[c2] を取り出すこれをプログラムにすると、以下のようになります。

全体をまとめた C++ のプログラム、Python・JAVA・C での解答例については、 chap3-6.md をご覧ください。